

おいしいれの ぼうけん

さく：ふるたたるひ・たばたせいいち（童心社刊）

さとちゃんが
ずっと手をつないでくれたから
ぼく・ぼく
力がでたんだ！



さくらほいくえんには、こわいものがふたつあります。
ひとつはおいしいれで、もうひとつはねずみばあさんです。

お昼寝前に、ミニカーのとりにっこでけんかをした、さととあきは、先生に叱られて
おいしいれに入れられてしまいます。そこで出会ったのは、地下の世界に住む怖ろしいねずみばあさんでした。
手をつないで、逃げる二人。

「フッフッフ さあ、あやまつたら、この世界から出してやる」
「ぼくたち、わるくないもん。ごめんなさいなんていうもんか！」
「なんだとおー！」
「いやだ——！！」

ねずみたちが飛びかろうとしたそのとき、二人の前に現れたのは ——

ハラハラドキドキワクワク おいしいれの大冒険がはじまる！！

◎ 絵・たばたせいいち
『おいしいれのぼうけん』（童心社）より

脚色：加藤 K 子
演出：本若幸多
音楽：シモシユ
舞台美術：長谷川真代
（人形劇団むすび座）
人形美術：しみずちか
衣装：幅上智里

